

令和5年度広瀬川における天然アユ遡上調査結果（5月分）

令和5年6月12日

宮城県水産技術総合センター
内水面水産試験場

宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場では、アユ釣り解禁前の情報提供と資源管理のための基礎データを得るため、毎年5月と6月に広瀬川において、アユの遡上状況を調査しています。本年度の5月分の調査結果は、以下のとおりです。

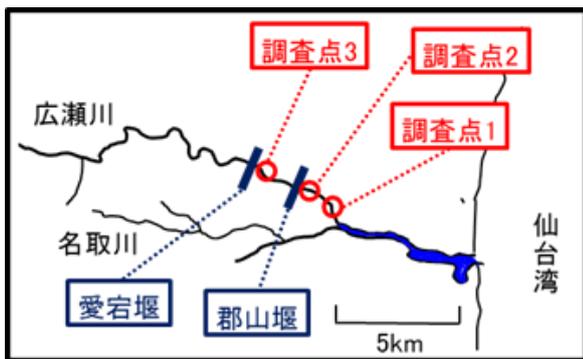


図1 アユ遡上調査地点

(1) 調査点

調査点1：名取川との分岐点から

500m上流（河口から7.5km）

調査点2：郡山堰下（河口から10km）

調査点3：愛宕堰下（河口から11.5km）

(2) 調査実施日

5月11日、25日

(3) 調査方法

各調査点において、投網を10投し、1投あたりの平均採捕尾数を求めました。また、1調査点あたり50尾のアユを当场に持ち帰り、体サイズ（標準体長および体重）を測定しました。



図2 調査風景①



図3 調査風景②

(4) 調査結果

各調査地点の天然アユの平均採捕尾数

各調査地点における天然アユの平均採捕尾数（平成28年から令和2年までの最大値と最小値を除いた平均値及び直近3ヶ年）を図4に示しました。なお、令和5年度の5月の1回目の調査日は11日ですが、過去の調査日と近い5月上旬として比較しました。

○調査点1

投網1投あたり5.0尾（5月上旬）、46.4尾（5月下旬）でした。5月下旬は過去2年と比べて多くのアユが採捕されました。また、上流の調査地点に比べ河口に近いので、天然アユと考えられる小型のアユが多く見られました。

○調査点2

投網1投あたり61.0尾（5月上旬）、11.0尾（5月下旬）でした。5月上旬は過去2年と比べて多くのアユが採捕されました。

○調査点3

投網1投あたり36.3尾（5月上旬）、32.8尾（5月下旬）と過去2年と比べて多くのアユが採捕されました。今年は、5月6日～8日の降雨により、多くのアユが郡山堰の斜路式魚道から上流部へ移動したものと考えられます。

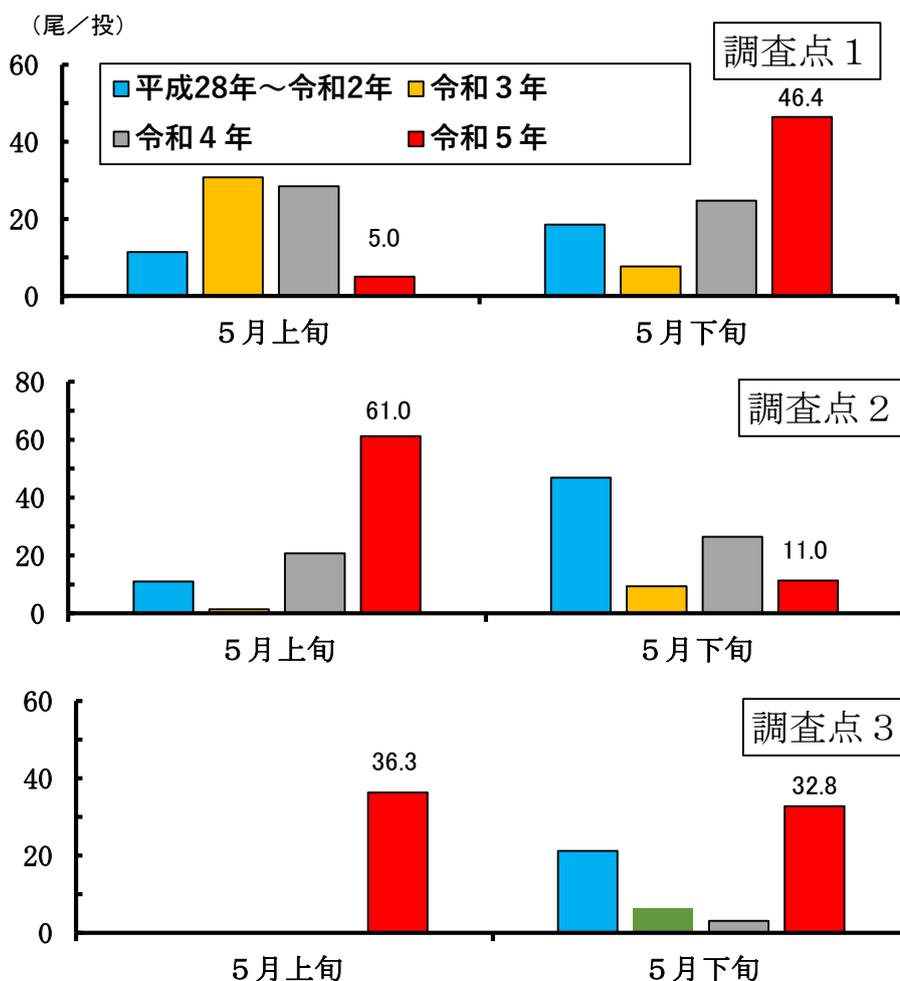


図4 各調査地点における天然アユの平均採捕尾数